

# 平成 27 年度 一級建築士設計製図試験の講評

## 課題：「市街地に建つデイサービス付き高齢者向け集合住宅」 (基礎免震構造を採用した建築物である)

### <試験前に勉強したこと>

今年の試験は建築士会の見学会で始まった。23 年間で初めてのことであり、一回目に参加させてもらった。役に立ったと思う。二回目は生徒さんに行ってもらって後からレクチャーを受けた。今後もこのような試みは重要だと思う。建物を見ることにより学ぶことは非常に多い。

最初に考えたのは、最近の試験の事例は圧倒的に吹抜けが多い。よって、吹抜けの問題を 8 課題演習した。

### <各項目について>

#### ・床面積について

(住宅部門の共用廊下等と E. V. スペース) 含まず

#### ・吹抜けの設置

エントランスホールに 100 m<sup>2</sup>の吹抜けを設け、両側道路からアクセスさせ、ギャラリー、レストラン、住宅、デイサービス部門へ繋がるコアとなる。また 2 階のデイサービス部門へ連続する空間がこの建物の中心となる。

#### ・レストラン、ギャラリーの位置

地域支援は本試験のテーマとなっており、駅前の商店街に繋がる構想となっている。

#### ・車寄せ

横断歩道のない西側に設け、ピロティの下部を利用する。

横断歩道のある東側に設けると大減点となる。

#### ・屋上庭園

住居が屋上庭園とテラスに囲まれ、良好な住環境を形成する。

### <試験終了後の感想>

今年の試験は、非常にナイーブな問題と思う。私の講師歴 23 年の中で最も自然で優れている。

このような問題を解くには、問題に対して素直な気持ちが重要になる。

上記の試験項目については、すべて対応していたが、試験問題は全体的に自然な形でまとまっており、まとめ方に無理がなく、受験生に大きな負担がかからない点が良い。但し、実際の納め方は、細かな注意点も必要となる。今後もこのような形で試験は進められると考えられる。

2015 年 10 月 15 日

—— 塾長談話 ——

コスモ建築塾